

徳川家康の服飾

福島雅子 著
(学習院女子大学准教授)

A5判上製カバー装 カラー口絵二八頁 本文三二六頁 挿図二六四点 本体価六、五〇〇円 + 税

ISBN978-4-8055-0793-3 C3072

天下人が好んだ フアツシヨンとは？



江戸幕府初代将軍として以後260年余つづく徳川政権の礎を築いた徳川家康。

その家康が遺した100点を超える服飾コレクションから、辻が花染・小紋染遺品の特色、「葵紋」の定式化を検討し、中世末期から近世初頭の服飾史上の一大転換期に現れた「家康好み」ともいえる新たな武家服飾形式を明らかにする。

(上)紫地葵紋付葵葉文辻が花染羽織 / (下)紺地葵紋付葵紋散梅文辻が花染小袖
(徳川美術館 所蔵 ©徳川美術館イメージアーカイブ / DNPartcom)

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1
IVYビル6階
電話 03-5577-4797 FAX 03-5577-4798
<http://www.chukobi.co.jp/>

お取り扱い

目次

序論 徳川家康の服飾遺品

第Ⅰ部 辻が花染の服飾類

第一章 徳川家康所用の辻が花染服飾類

第二章 東京国立博物館所蔵

「白紫段練緯地葵紋散模様陣羽織」

第三章 東京国立博物館所蔵

「白練緯地松皮菱竹模様小袖」

第Ⅱ部 小紋染服飾類の展開

第四章 紀州東照宮所蔵

「紺地宝尽小紋小袖」

第五章 徳川美術館所蔵の小紋染服飾類

第六章 江戸東京博物館所蔵

「萌葱地葵紋付小紋染羽織」

第Ⅲ部 近世武家服飾の形成

第七章 徳川家康所用小袖類における

五つ紋の形成

第八章 雁金屋関係資料にみる徳川家康

および徳川将軍家の服飾

第九章 徳川家康所用服飾類における服飾様式

結論

著者略歴

福島雅子（ふくしま まさこ）

東京芸術大学大学院美術研究科芸術学専攻工芸史研究分野博士課程修了

学位 博士（美術）（東京芸術大学大学院）

東京芸術大学美術学部教育研究助手等を経て、

現在 学習院女子大学国際文化交流学部日本文化学科准教授

主な著書・論文に、「江戸のきものと衣生活」小学館、二〇〇七年（共著）、「東京国立博物館所蔵『白紫段練緯地葵紋散模様陣羽織』について——制作時期と形態の再検討を中心に」『美術史』第一七三冊、二〇一二年（本論文で、二〇一四年美術史学会「第二一回『美術史』論文賞』受賞）、「雁金屋関係資料にみる近世初期の武家服飾に関する一考察——徳川家康と徳川将軍家の服飾類を中心に」『東京芸術大学美術学部論叢』第九号、二〇一三年、「紀州東照宮所蔵『紺地宝尽小紋小袖』について——染織技法の検討と徳川家康所用小紋染服飾類との比較を中心に」『和歌山県立博物館研究紀要』第十九号、二〇一三年）など。

本書をお薦めする方々

服飾史、染織史、日本中世・近世史、風俗史、古典芸能（能）、工芸技術・江戸デザインを対象とする研究者・研究室
染織技術者・時代考証家
美術館・博物館学芸員
大学・公共図書館



東照大権現靈夢像 狩野探幽筆 天海賛
（日光山輪王寺所蔵）



花色麻地葵紋付電繫小鳥小紋長袴（肩衣長袴）
（徳川美術館所蔵） © 徳川美術館イメージアーカイブ / DNPartcom

関連書籍

中近世染織品の基礎的研究

山川 暁 著

本体価 13,000円 + 税

A5判上製函入 本文 304頁 挿図 170点

ISBN 978-4-8055-0733-9

2015年2月刊行

海のシルクロードの染織史

吉田 雅子 著

本体価 17,000円 + 税

A5判上製函入 本文 516頁 口絵 16頁 挿図 356点

ISBN 978-4-8055-0775-9

2016年2月刊行